

# ファッション関連有識者会議について

平成18年9月19日  
経済産業省製造産業局

## 1. 趣旨

ファッション産業の発展は、国の経済・文化・生活に活力をもたらし、ソフトパワーの源泉ともなることは、万国共通の認識となっており、フランスなどのファッション先進国のみならず、アジア各国でも、国を挙げてファッション発信拠点の育成に力を入れている。

我が国は、精緻なモノ作り、購買力があり感性豊かで厳しい消費者の存在などの恵まれた条件を備えながら、世界に通用するブランドは数少ない。

このような状況を打開する一つの試みとして、官民一体となって昨年秋に「東京発 日本ファッション・ウィーク」を立ち上げ、日本のデザイン、素材、流通の連携を促進し、素材から差別化した独自性の高いブランドを育成し、世界に発信する場とする取り組みを推進中。

この取り組みは、本年7月に取りまとめられた経済成長戦略大綱においても、「日本ファッション・ウィークを核としたファッション発信機能を強化するとともに、素材と製品双方の企画・製造・販売機能を強化し、事業創造を促すため、人材育成や企業間連携を促進する」と、盛り込まれたところ。

そこで、この度、日本をファッションの創造発信の中核拠点とし、日本のファッション産業の国際競争力を強化する方策について有識者の意見を伺う場として、経済産業大臣の私的懇談会「ファッション関連有識者会議」を開催することとした。

## 2. 主な検討事項案

- 日本のファッション産業の国際競争力をいかに強化するか
- ファッションの創造発信拠点としての日本の地位をいかに確立するか
  - ・ 日本ファッション・ウィークの継続・充実
  - ・ 「創」「匠」「商」連携の実
  - ・ 観光、文化等各施策との連携